

授業展開例② ステージ2 「クレジットカードで買い物をしてみよう」

●題材名 クレジットカードの支払方法、ネットショッピングとクレジットカード利用時の注意事項

●題材の目標

- ・クレジットカードの支払方法の種類と特徴を知り、自分に合った使い方について考える。
- ・クレジットカード使用時の注意事項を知り、実生活に役立つ力を身に付ける。

●学習指導過程

時間	主な学習活動	指導上の留意点	教材・資料
導入 5分	●前回の授業内容を理解しているか確認する。	・契約の基礎知識、クレジットカードの使い方について復習させる。	
展開Ⅰ 15分	●Web版読本で「クレジットカードを使ったネットショッピング」を疑似体験する。	<ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカードの主な支払方法である「一括払い」「分割払い」「リボ払い」の違いを理解させる。 ・「分割払い」「リボ払い」については、利息計算用プログラム（エクセル）を使い、手数料と支払総額をシミュレーションさせ、ワークシートに記入させる。 ・3つの支払方法のメリット・デメリットを考えさせる。 	ワークシート② ・クレジットカードの支払方法 ・分割払い、リボ払いの手数料をシミュレーションしてみよう ・一括払い、分割払い、リボ払いのメリット、デメリットを書いてみよう 指導者用パワーポイント資料
展開Ⅱ 10分	●Web版読本で「ネットショッピング〇×クイズ」に挑戦する。	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズの答えを解説し、ネットショッピング利用時の注意点を確認させる。実際、利用したことのある生徒に対して、不安な点などがあつたかどうか発問する。 ・ネットショッピングを賢く利用するポイントについて確認させる。 ①信頼できる事業者かどうか確認する。 ②ネットショッピングではクーリング・オフ制度がないため、返品特約などの表示をよく読む。 ③サイトの安全性（SSLなど）を確認する。 ④契約内容は保管する。 	ワークシート② ・クイズに挑戦 ・ネットショッピングを利用する時に気を付けることをまとめてみよう 指導者用パワーポイント資料
展開Ⅲ 10分	●Web版読本で「こんなときどうする？クレジットカードトラブル」に挑戦する。	<ul style="list-style-type: none"> ・3つのトラブル事例（漫画）について会員規約から根拠を探し、答えと理由、そこから気付いたことをワークシートに記入させる。 ・ワークシートの記述内容を発表させ、発表内容を整理し、解説する。 ・トラブルを防ぐためのポイントを確認する。 	ワークシート② ・事例ワーク 指導者用パワーポイント資料
まとめ 5分	●学習内容をワークシートにまとめ、発問に答える。	・クレジットカードの支払方法、ネットショッピング及びクレジットカード利用時の注意点について理解したかどうか、発問する。	ワークシート② ・まとめ

ワークシート解答例

※生徒用及び解答付ワークシート（エクセル）はWebサイトからダウンロードできます。先生用ページ「教材紹介」からご覧ください。

【ネットショッピングを利用する時に気を付けることをまとめてみよう】

例)

- ・通信販売の場合、返品・交換できるかはサイトによって異なるため、申込時には、商品の表示（材質、サイズ、数量など）や購入条件（納期、支払方法、送料、支払手数料、返品条件）を確認してから申し込む。
- ・そのサイトがSSL（情報の暗号化）や3Dセキュア（本人認証システム）などの安全対策をとっているかを確認する。
- ・一般に流通している価格よりも大幅に安く販売されていないか、商品が模倣品でないか注意する。
- ・所在地、代表者名、電話番号等の記載があるか、他の利用者の評価など事業者の情報をしっかり確認する。
- ・申し込み画面や契約確認の受注メールなどは、必ず保管する。

【事例1】 次のトラブルに巻き込まれた場合、どうしたらよいか考えてみよう。
会員登録の画面から情報を集め、自分で回答を考えて発表しよう。



＜事例1＞先輩から「財布を忘れたので、悪いけどクレジットカードを買ってくれませんか？後でお金は払うから。」と言われて、断りきれずクレジットカードを買った。ところが先輩から「ごめん、クレジットカードをなくしちゃった。」と言われた。あわててクレジットカード会社と警察に紛失届を出したが、後日先輩も使った覚えがない20万円の請求が来た。クレジットカード会社に連絡すれば、この20万円は支払わなくてもよいか。

どちらかに○を付けよう 支払わなくてもよい

理由 ◆ヒント 会員規約第4条

例) 会員規約でクレジットカードを他人に貸して不正利用されても支払責任を負うことになっているから。



＜事例2＞財布の中にクレジットカードがないことに気付いた。クレジットカード会社に連絡したが見つからなかった。使った覚えのない30万円の請求が来たが、私は支払わなくてもよいか。

どちらかに○を付けよう 支払わなくてもよい

理由 ◆ヒント 会員規約第8条

例) 警察に連絡してなかったため、クレジットカードの補償の条件を満たさないから。



＜事例3＞リボ払いで注文した6万円のスマホが催促しているにもかかわらず3週間経っても届かない。クレジットカード会社から請求書が届いたが、所定の手続きをすれば私は私は注文した商品が届くまで支払いをストップすることができるか。

どちらかに○を付けよう

理由 ◆ヒント 会員規約第13条

例) この場合は、クレジットカード会社に「商品が届くまで、私は代金を支払わない」と主張することができるから。

【まとめ】 クレジットカードのトラブルを防ぐために気を付けることをまとめよう。

例) クレジットカードを受け取ったら裏面にすぐサインする。クレジットカードは他人に貸してはいけない。暗証番号は誰にも教えない。クレジットカードを紛失したり盗難に遭ったら、クレジットカード会社と警察にすぐに連絡する。利用明細書は必ず確認し、身に覚えのない請求は、クレジットカード会社にすぐに連絡する。

ワークシート② クレジットカードで買い物をしてみよう

【クレジットカードの支払方法】

種類	支払方法	手数料
一括払い	1回払い、ボーナス10回払いなど	かからない
分割払い	購入の都度（支払回数）を決めて支払う 3/6/10/12/24/36回払いなど	（かかる）
リボ払い （「リボ払い」ともいう）	毎月（一定額）・（一定率）で支払う	（かかる）

- ・クレジットカードの支払方法は主に（ 3 ）通りある。
- ・（ 分割 ）払い、（ リボ ）払いなど、分割して代金を支払う場合は手数料がかかる。
- ・カードショッピングの手数料とは（ 利息 ）のことで、お金のレンタル料である。

【分割払い、リボ払いの手数料をシミュレーションしてみよう】

今月6万円のスマホを買い、翌月3万円の洋服を買った場合の比較表（○○カード会社の場合）

種類	条件	支払時期	手数料	支払総額
一括払い	翌月一括払い	名購入月の翌月	0円	90,000円
分割払い	スノボ6回払い、洋服3回払い	6か月後	2,466円	92,466円
リボ払い （「リボ払い」ともいう）	毎月1万円、元利均等払い	10か月後	5,618円	95,618円

【一括払い、分割払い、リボ払いのメリット、デメリットを書いてみよう】

種類	メリット	デメリット
一括払い	手数料がかららない。	高額な買い物では、一度に支払えるか心配な場合もある。
分割払い	1回当たりの支払額を抑えることができるので、高額な買い物もできる。支払回数は途中で変更できない。	手数料がかかる。買い物が増えると、1回当たりの支払額が多くなる。
リボ払い	毎月の支払額が一定なので家計管理がしやすい。	手数料がかかる。買い物が増えるほど支払回数が増え、手数料の負担も重くなる。支払終了時期が分かりにくい。

【クイズに挑戦】 ネットショッピング〇×クイズに答えて、その理由を考えてみよう。

第1問：検索サイトで上位にランキングされる事業者のサイトは、人気があるので信用できる。

○か×か？ 自分の答え 正解（ × ）

理由：例) インターネット上のWebサイトは、サイト制作の技術さえあれば匿名な会社と同じようなものを作ることができる。日本語で表示されているからといって国内の事業者とは限らず、検索サイトで上位に表示されているからといって信用できるかどうかを判断することは難しい。

第2問：ネットショッピングで購入した商品には、法律上のクーリング・オフ制度はない。

○か×か？ 自分の答え 正解（ ○ ）

理由：例) クーリング・オフ制度とは、一定期間内であれば、消費者から一方的に契約を解除できる制度。ただし、店舗販売や通信販売には、クーリング・オフは適用されない。

第3問：クレジットカード番号を入力する際は、そのサイトが安全対策をとっているかどうか確認する。

○か×か？ 自分の答え 正解（ ○ ）

理由：例) インターネットはオープンなネットワークなので、データを送受信する経路で盗み見られたり、改ざんされたりする恐れがある。そのため、そのサイトがSSL（情報の暗号化）や3Dセキュア（本人認証システム）などの対策をとっているか確認し、クレジットカード番号の情報を不正利用されないようにする。